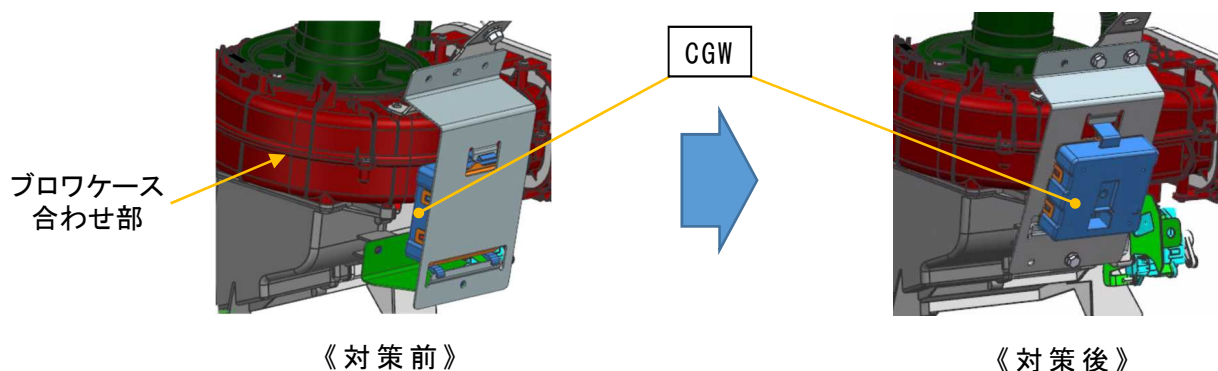
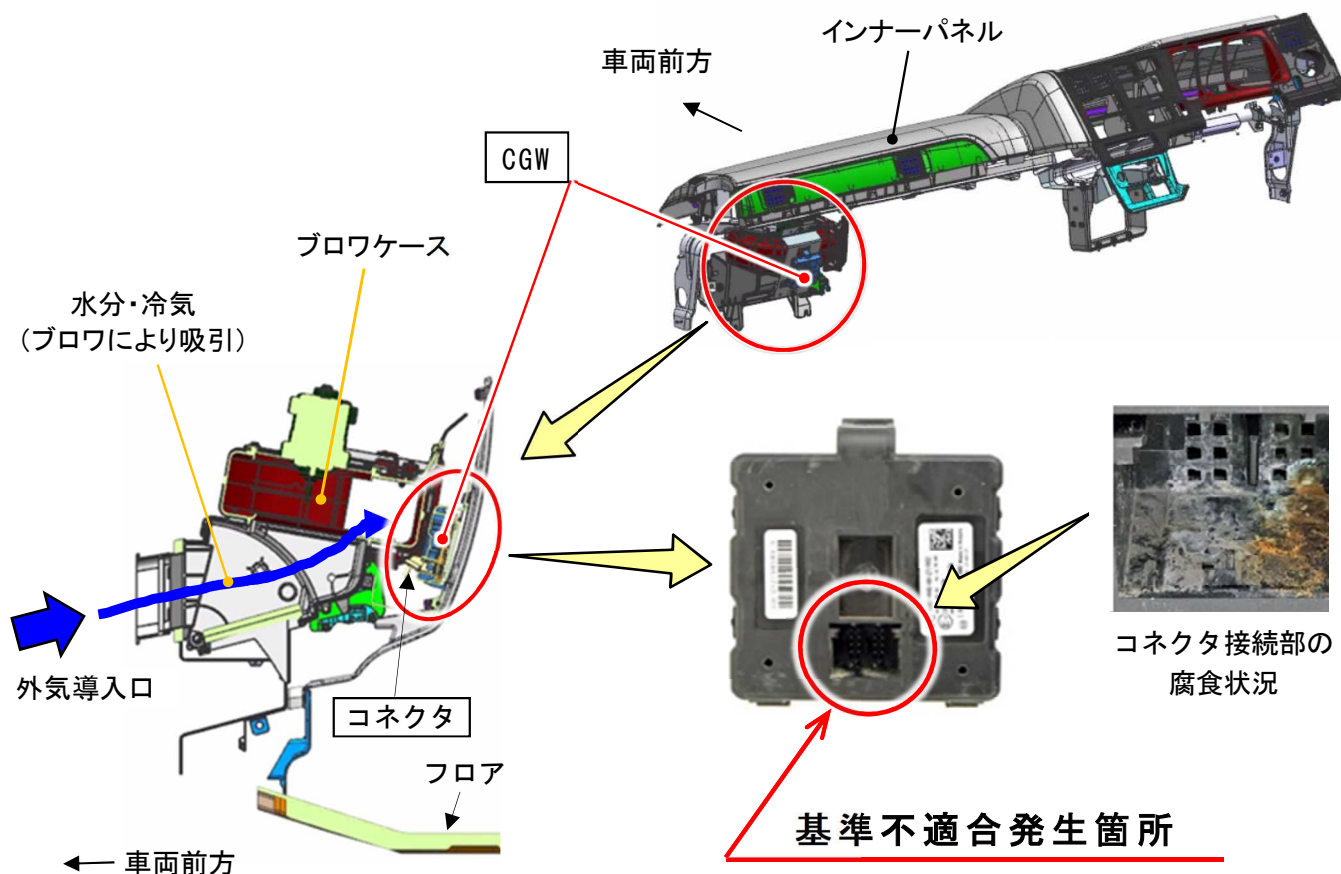


# 改善箇所説明図



大型トラックにおいて、車室内の空調用ブロウ後方に装着されているCGW (Central Gate Way : 信号のやり取りをする ECU) の搭載位置が不適切なため、ブロウケース内部に取り込んだ外気に含まれる水分がケース合わせ部から滲み出してCGWのコネクタ端子に滴下すると、当該端子とCGWの内部基盤に腐食や損傷が生じるものがある。そのため、走行中のエンジン停止、エンジン再始動不能、PTO作動不能、コンビネーションスイッチの不作動等の不具合が発生するおそれがある。

## 改善措置の内容

全車両、CGWの搭載位置を変更すると共に、防水シートを追加する。

また、CGWユニットへ接続するハーネスのコネクタ端子に腐食が認められた場合は、全ての端子を補修して新品のCGWユニットとコネクタに交換する。

注 :    はハーネスのコネクタ端子に腐食が認められた場合に、新品に交換する部品を示す。

識別 : CGWの搭載位置により作業の実施状況を容易に確認できるため、識別シールの貼付けは行わない。